

福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 平野協治
 編集 広報事業部
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話：043-460-1781 FAX：043-463-4169
 事務局員勤務：火・水・金の13時～17時
<http://yukari-shakyo.jp/>

平成28(2016)年度の敬老の集い

今年も下記の日程で敬老の集いを開催いたします。

対象者：年齢が75歳以上（昭和16年12月31日以前生まれ）の方

※詳細につきましてはご招待者に個別にご案内いたします。

- 第1ブロック 9月25日(日) 志津コミュニティセンター
- 第2ブロック 9月24日(土) 志津コミュニティセンター
- 第3ブロック 9月24日(土) 青菅小学校
- 第4ブロック 9月24日(土) 志津小学校

※上座第4町会は志津地区社協の敬老の集いに参加 9月24日(土) 志津中学校

「平成28年度佐倉市敬老商品券」について

敬老のお祝いに今年も佐倉市より商品券を配布いたします。

この商品券は、「佐倉市敬老商品券事業」参加店等でご利用いただけます。

ユーカリが丘地区社協の事業であるふくし祭り・スマイルサービス・いきいきサロンでも使用できます(つり銭はできません)。

有効期限：平成29年1月31日まで



目次

- 2面：スマイルサービス／お話しフェスティバル／フードバンク（食品の回収）にご協力ください
- 3面：第1回福祉委員会を開催／クリーン大作戦一街をきれいに／『第29回全志津社協少年野球大会』開会式／平和教育に今年もお手伝いとして参加／『平成28年熊本地震』災害義援金街頭募金運動に協力
- 4・5面：平成28(2016)年度ユーカリが丘地区社会福祉協議会事業計画／ユーカリが丘地区社会福祉協議会（地区社協）とは
- 6面：福祉委員の紹介
- 7面：第2ブロック高齢者ふれあいバス旅行／第3ブロック住民福祉懇談会／第4ブロック住民福祉懇談会／「ともに歩むふくしプランⅢ」による“地域の支え合い”活動開始

第24回ふくし祭りを開催します

日時：11月20日(日)10時～14時

会場：志津コミュニティセンター

今年も、バザーや絵画コンクールを予定しています。小学生などからの絵画や、地域の皆様から献品の寄付を募らせていただきますので、よろしくお願いいたします。



今後の主な活動予定

- *10月23日 (日) : 市民セミナー
- *平成29年2月 5日 (日) : 第9回防災フォーラム
- * " 3月12日 (日) : クリーン大作戦
- * " 3月25日 (土) : お話フェスティバル

ご寄付をいただきありがとうございました

- ◆ひだまりファミリー歯科医院様 10,000円
- ◆イエローレシートキャンペーン
イオン様 (ギフトカード) 12,300円
マックスバリュ様 (ギフトカード) 3,900円
- ◆山万株式会社様 500,000円

愛の箱 募金箱設置場所一覧

- 武田薬局
 - ユーカリが丘郵便局
 - 医療法人社団工藤外科内科
 - お茶の北林
 - 中華料理「慶華」
 - アクア・ユーカリ1F ヘルスセンター
 - アクア・ユーカリ2F ボーリング場
 - エステテックサロン (ウルウル)
 - シダックス ユーカリが丘店
 - ウイシュトンホテルマンダリンキャップ
 - ウイシュトンホテル
 - セドナ整骨院・鍼灸院
 - 佐倉市役所ユーカリが丘出張所
 - SoboCafe301
 - ユーカリ眼科医院
 - 第一調剤薬局
 - 山万株式会社
 - しみず接骨院
 - 志津タクシー
 - ユーカリゴルフプラザ
 - ファミリー理容店
 - ラーメンとん太
 - 元祖札幌や
 - とんでんユーカリが丘店
 - ユーカリが丘地区社協宮ノ台分室
- 25カ所で49,351円(平成27年度集計)のご協力いただきました。
ありがとうございました。



編集後記

今回は、平成二十八年度の最初の号になります。
今年度より、スマイルサービス事業が事業部になり、今までの6事業部から7事業部体制となりました。
4つのブロック(地域)での活動と7つの事業部での活動で地域の福祉課題について解決していくべく、予算表と組織図をつくりました。
今年度は熊本地震・その後の熊本地方への豪雨のニュースにあたって心痛むばかりであります。
また大型台風が発生しております。今後も続く自然災害に対して十分な備えによつて減災につとめたいものです。



【わいわい喫茶】が惜しまれながら終了

ユーカリ殖産自治会館を会場に、平成17年から始まった【わいわい喫茶】ですが、平成28年3月26日の活動をもって終了いたしました。関わっていただいた皆様、長い間本当にありがとうございました。



《いきいきサロン活動予定》

開催場所	開催日時	8月	9月	10月	11月
志津コミュニティセンター	第1金曜日 10:00~15:00	5	2	7	4
宮ノ台自治会館	第3金曜日 10:00~15:00	お休み	16	21	18

対象者: 概ね75歳以上で自分で身の回りの事ができる方はどなたでも参加できますのでいらしてください
(午前の部だけ、午後の部だけの参加も可)

参加費: お茶・お茶菓子が付いて100円
(ただし、お昼のお弁当は別途600円:注文は10時に取ります)

《歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」の開催予定》

開催場所	開催日時	8月	9月	10月	11月
志津コミュニティセンター	第3土曜日 14:00~16:00	お休み	17	15	26 (第4土)

対象者: どなたでも参加できます
参加費: お菓子と飲み物 (おかわり自由) がついて 200円

《100円喫茶 開催予定》

開催場所	開催日時	8月	9月	10月	11月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所	第4火曜日 13:30~15:30	23	27	25	22
ほほえみ喫茶 宮ノ台自治会館	第4火曜日 13:30~15:30	お休み	27	25	22
カフェ円か ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第3金曜日 10:00~12:00	お休み	16	21	18
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第2金曜日 13:30~15:30	お休み	9	14	11
みんなの広場 志津コミュニティセンター	第3水曜日 13:30~15:30	お休み	21	19	9 (第2水)
先崎ふれあいサロン 先崎自治会館	第4日曜日 13:30~15:30	お休み	25	23	27
花のさと 井野会館	第2水曜日 13:00~15:00	お休み	14	12	9

対象者: 赤ちゃんから高齢者までどなたでも参加できます
参加費: お菓子と飲み物 (おかわり自由) がついて 100円
問い合わせ先 事務局043-460-1781



いきいきサロンや歌声喫茶、100円喫茶ではボランティアを募集しています。会場準備や片づけなど簡単なお手伝いです。詳しいことは事務局まで連絡ください。



スマイルサービス 日常生活支え合い事業

たくさんの素晴らしい 協力会員(サポーター)に支えられ6年目!!

**H28.3.22
2500件達成!!**



幸運なサポーター千田邦枝さんに
感想をいただきました

『スマイルサービスのお仕事をいただき、たくさんの利用者さんと
出会い感じることは、人生の先輩たちがいろいろな智恵と工夫を
お持ちの上、そして話し方などから私にとって、人生の指針にな
ることがあります。私はあるグループの傾聴活動をしているので
すが、顧問の先生からご指導いただいた内容で大切にしているこ
とがあります。"人に寄り添うということは、その人の立場にな
って物事を考えること"自分だったらこうするとか、こうした方が
良いなどと意見をしないことです。スマイルサービスのお仕事も
この考え方に通じることを感じます。私はスマイルサービスから
お仕事をいただき利用者様宅に出向く時、ワクワクします。
「今日はどんなお顔で待っていて下さるのだろうか?私は自分の心身
の健康を確認して心より笑顔を忘れずに出かけていきます。
そして「出会えた方への感謝」を胸に抱き家路に着きます。』

超高齢化社会がそこまできています

協力会員(サポーター)募集!!

あなたの空いている時間を
地域の困っている方々のために
有効活用してみませんか?

作業料 1時間500円



団塊の世代の方々が後期
高齢者となる2025年が
ピークとなります。
元気な方は担い手として
支える側=サポーター
できなくなったら
利用会員になりましょう!!

利用会員数

179名

*男性 66名 *女性 113名

協力会員数

114名

*男性 51名 *女性 63名

平成28年 7月11日現在

スマイルサービスセンター

会員登録・問い合わせ



〒285-0857 佐倉市宮ノ台1-2-2 ローソン佐倉宮ノ台1丁目店 2F

TEL 043-312-4073 FAX 043-312-4074 E-mail smile-c@citrus.ocn.ne.jp

コーディネーター受付日 月・木 14:00~16:00 左記以外の時間帯は 留守番電話・FAX・E-mailにて承ります

***作業日は利用者の希望にできるだけそえるようにコーディネートします**

春休みだよ!お話フェスティバル

平成28年3月26日(土) 志津コミュニティセンター

恒例の「春休みだよ!お話フ
ェスティバル」が開催され201
名の来場者がありました。

今年、佐倉おはなしの会の
大型紙芝居をはじめ、ペンギン
リコーダーアンサンブルの音楽と
お話し、若返り軍団の布芝居、
影絵塾9による本格的な影絵な
ど、バラエティに富んだ演目で
子どもから大人まで楽しめたお
話フェスティバルでした。



フードバンク(食品の回収)にご協力ください

ご家庭で不要な食品があれば是非ご寄贈ください。
いただいた食品は生活に困窮されている方にお配り
します。

ご寄付いただきたい食品例として、穀類(お米、麺類、
小麦など)、保存食品(缶詰、瓶類など)、乾物(のり、
豆など)、調味料、食用油、インスタント食品、レトル
ト食品、飲料(ジュース・コーヒー・お茶)、ギフトパック(お
歳暮、お中元など)

※賞味期限が明記され、且つ2ヵ月以上ある物に限ります。

◆問合せ先 佐倉市社会福祉協議会

電話・043(484)6200

◆受取場所 佐倉市社会福祉協議会

西部地域福祉センター

電話・043(463)4167

第1回福祉委員会を開催

平成28年5月21日(土) 志津コミュニティセンター

第1回福祉委員会を開催し、28年度の活動計画や予算とともに、新体制の承認を得て、平成28年度の活動が開始されました。また、左記の方および団体が表彰されました。

*会長表彰

湯川たみ子様

指定障害者支援施設さくら手園で、毎週土曜日に洗濯物たたみ等をボランティアで7年間続けている事による。

*感謝状

(表彰規定により10万円以上寄付した団体)

山万株式会社様

ご寄付50万円

クリーン大作戦

―街をきれいに―

平成28年3月13日(日)

本年度も、小竹小学校、青菅小学校、志津小学校、井野中学校、ユーカー7丁目子供会、青菅バスケットクラブ、ユーカーが丘サッカークラブなどの参加を得て、地域住民と共に世代を超えた交流の場として、街をきれいにするクリーン大作戦(ごみ収集活動)を開催し、肌寒い天候にもかかわらず、248名もの多くの方々に参加いただきました。

近年ごみの量は少なくなっていますが、コンビニ周辺や公園などではペットボトルが目立ちました。

清掃活動は、環境美化としても、自分たちで守る地域づくりを目指す意味でも大変有意義な活動です。皆様のご協力を得ながら継続して参りますので、来年度もご参加ご協力の際よろしくお願ひします。



『第29回全志津社協少年野球大会』開会式

平成28年6月26日(日)下志津スポーツ広場

この大会は、志津方面にある4つの地区社会福祉協議会(志津・西志津・志津南・ユーカーが丘)が合同で開催しています。志津少年野球連盟に加入している9チームが、トーナメント方式で優勝を目指して戦います。

当初、開会式は6月25日を予定していましたが、前日からの風雨で26日に延期となりました。

26日は絶好の開会式日和。昨年優勝した西志津クラブを先頭に各チームが入場。宣誓や始球式などのセレモニー後、第1試合が行われました。



平和教育に今年もお手伝いとして参加

(主催:井野中学校)

平成28年3月2日(水)、17日(木)、18日(金)、22日(火)

井野中学校2年生を対象に総合的な学習「受け継がれる食文化」として、地域のご高齢の方などにも協力していただき、4回にわたり調理実習にお手伝いとして参加しました。生徒と一緒にすいとんを作り、食べながら戦中戦後の食糧事情や当時の生活の様子などのお話を聞きました。

この学習は、3年生で広島に修学旅行に行く前の平和教育の一環として昨年に引き続き行われています。地域のご高齢の方と中学生との新しい交流の機会ともなっています。



『平成28年熊本地震』災害

義援金街頭募金運動に協力

(主催:佐倉市社会福祉協議会)

平成28年5月12日(木)・13日(金) ユーカーが丘駅周辺にて

大地震で被害にあった熊本へ、少しでも支援出来ればとボランティア団体や個人、企業の方々と一緒に、ユーカーが丘駅周辺で義援金の協力を呼びかけました。12日は51,735円、13日は36,683円が集まりました。集まった義援金は千葉県共同募金会を通して全額熊本県共同募金会に送られました。多くの方のご協力本当にありがとうございました。災害復興の一助になる様祈っております。



平成28(2016)年度ユーカーが丘地区社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

一人ひとりが住みなれた街で、安心して暮らし続けることができる地域社会の実現には、住民の最も身近な存在である地区社協の役割がますます重要になっている。したがって、関係諸団体と協働し街ぐるみの取り組みとなるよう推進する。

さらに、従来のイベントや各種活動は、地域におけるコミニケーションが福祉活動の根幹を成すものであり、引き続き努力する。

一方、急速に進む地域の高齢化と行政による地域包括ケアシステムの構築等に対応すべく、日常生活を支援するスマイルサービス事業を最重要事業として周知発展させるよう努力する。また、今年度より始まる「ともに歩むふくしプランⅢ」(第5次佐倉市地域福祉活動計画・期間平成28年度～32年度)の3重点項目(支えあい活動・災害時要援護者支援・生活困窮者支援)は地区社協活動の指針となるものであり、達成されるよう取り組む。

【ユーカーが丘地区社会福祉協議会の課題】

1. 少子高齢化、核家族化、生活様式と価値観の多様化
2. 日常生活における要援護者の増加と、行政による地域包括ケアシステムへの対応
3. 子育て世代への支援
4. ともに歩むふくしプランⅢ(第5次佐倉市地域福祉活動計画)の推進
5. 福祉教育活動の推進

【今年度の取り組み方針】

1. スマイルサービス事業の周知発展

行政サービスを補完する高齢者・要援護者などへの日常生活支援体制の確立・継続は、「ともに歩むふくしプランⅢ」の3重点項目の中の「支えあい活動」であり、地区社協活動の中でも極めて重要な課題であるので、今年度より事業部化のうえ、PRの推進と内容の充実を図ると共に、人材の発掘育成に努める

2. 「ともに歩むふくしプランⅢ」3重点項目の推進

(1) 関係諸団体、民生・児童委員などと協働し取り組み

(2) 既に取り組んでいる諸活動の充実・強化を図る中に取り込み、実施していく

3. 子どもの健全育成と子育て支援情報提供

- (1) 福祉教育推進のため学校・児童センター・施設等と連携・協力し、子どもが参加できる事業を通じ、ボランティア活動への参加促進
- (2) 子育て支援に関する各種情報の提供を広報紙・100円喫茶などで行う
- (3) スマイルサービス事業で子育て世代への支援を進める。

4. ボランティア活動の推進

- (1) 各事業の円滑な推進のためボランティアの募集活動の実施
- (2) 地域福祉の基本であるボランティアの人材発掘・育成強化

5. 組織体制

- (1) 各事業部・ブロック間の情報の共有化と連携強化
- (2) 事業部活動活性化のため、福祉委員交流による相互理解と参加人員の確保

6. 志津4地区社協の連帯

- (1) 4地区社協の協働による事業の実施
- (2) 支えあい活動等の情報の共有化による地域連帯の強化

7. 福祉ニーズの把握

- (1) 住民福祉懇談会の開催
- (2) 民生・児童委員、志津北部地域包括支援センター、関係諸団体などとの連携による住民福祉ニーズの把握と対応

8. 「いきいきサロン」「100円喫茶」歌声喫茶

「カフェ・ユーカー」などの拡大・充実

- (1) 新たな実施場所の検討実施
- (2) 地域密着ボランティアの増員促進

9. 広報活動の推進

- (1) 災害等緊急時の避難訓練の実施
- (1) 広報紙の発行による社協活動の理解促進
- (2) 広報紙の内容の充実
- (3) スマイルサービス事業に伴う広報活動
- (4) HPのメンテナンス
- (5) 地区社協の認知度を高める活動の推進
- (1) 自治会などへ地区社協事業概要の説明を必要に応じ実施
- (2) ポスター、チラシの効果的な活用と掲示板の利用促進

10. 研修の効果的推進

- (1) 福祉委員研修の実施
- (2) 一般市民を対象とする福祉研修の実施
- (3) 障がい者・認知症などに対する理解促進のため、研修交流の実施
- (4) 諸団体と共同開催の防災フォーラムの継続開催
- (5) 他地区社協(志津・西志津・志津南)実施の研修会への参加

11. 先駆的福祉事業の推進

- (1) 「ともに歩むふくしプランⅢ」の推進
- (2) 要援護者支援
 - ① 災害時見守り制度を導入する自治会に対する支援
 - ② 日常生活の見守り制度について民生・児童委員、関係諸団体との連携・協調体制を検討し、支援体制のネットワーク化を支援
- (3) 子育て世代支援

12. 財政の確保

- (1) 会員加入促進活動の展開
- (2) ふくし祭り・ユーカー祭り出店等収益を確保する事業の展開
- (3) 「愛の箱」設置場所の増設

13. 災害等緊急時の対応

災害時は地域各種団体と連携・協働し、佐倉市社協との連絡・連携を密して対応

14. 大震災被災地への復興支援

災害を風化させないために支援活動などの継続的な実施

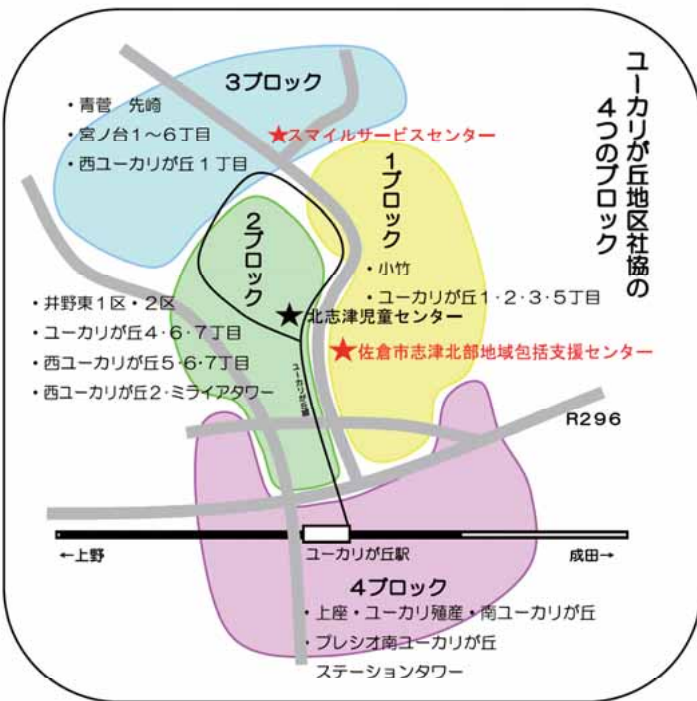
ユーカリが丘地区社会福祉協議会(地区社協)とは

●活動資金は

- ・会費 (1世帯500円/年 還元金として300円が地区社協に)
- ・共同募金配分金 敬老事業配分金 寄付金
- ・事業収入 (ふくし祭り(バザー)、いきいきサロン、100円喫茶、歌声喫茶、ユーカリ祭り出店)

社会福祉協議会(社協)は、「社会福祉法」により規定されている組織です。民間組織としての自主性を持つと同時に、広く社会や住民福祉関係者に支えられた公共性と公益性の高い非営利団体であり、補助金や会費、一部収益事業で運営されています。

地区社協は、そこに住むすべての住民が安心して暮らしやすい福祉のまちづくりをするために、住民が主体になって知恵と力を出し合い、地域ぐるみで推進する牽引役です。ユーカリが丘地区社協は、佐倉市社会福祉協議会に属し、平成14年4月に佐倉市で初の地区社協として誕生しました(現在、佐倉市内には14の地区社協があります。)



■主な活動

地域での福祉課題について支援を必要とする人(高齢者、障がい者、子育てなど)やその家族の皆さんに対し、必要に応じ地域の人々と協力しながら解決を図ろうとするボランティアです。「敬老の集い」をはじめとする、各種事業、イベントなどを開催し、コミュニケーションを図る活動を展開しています。

ユーカリが丘地区社協は、「4つのブロック(地域)での活動」と「7つの事業部での活動」から構成されています。

ユーカリが丘地区社会福祉協議会の事業と平成28年度予算

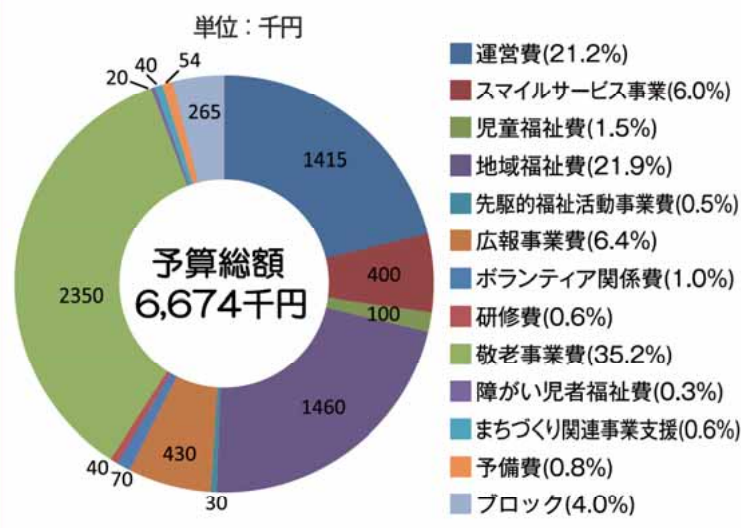
ユーカリが丘地区社会福祉協議会

7つの事業部の活動

- スマイルサービス事業部**
高齢者などで手助けを必要としている方の日常生活支え合い事業
- 交流事業部**
お話フェスティバルなど
- 支援事業部**
・いきいきサロン 100円喫茶 歌声喫茶など
- 先駆的事业部**
・見守り制度・子育て世代支援検討「ともに歩むふくしプランⅢ」の推進
- 広報事業部**
・広報紙発行 ホームページ 広報活動など
- ボランティア事業部**
・ボランティア育成 共同募金 福祉教育など
- 研修事業部**
・福祉委員研修 市民セミナーなど

4つのブロックの活動

- 各ブロックでの活動**
・ブロック会議 住民福祉懇談会 ふれあい交流会 昔遊び 友愛訪問
- 敬老事業**
・佐倉市からの委託による「敬老の集い」
- 志津4地区社協合同事業**
・少年野球 少年少女サッカー 施設訪問
- ふくし祭り**
・福祉バザー 絵画コンテスト 模擬店
- その他**
・愛の箱 黄色いレシート



福祉委員の紹介

【理事】

会長 平野 協治
 副会長 鈴木 司朗
 田口 澄子
 瀬尾 潔
 阿部 和夫
 高崎 照夫
 山本 美穂
 高美 修次
 阿部多加子
 堂満 憲一
 山崎 喜弘
 矢部 隆平
 廣地 富夫
 田口 澄子
 山口 昌江
 浅野 太郎
 菅原喜美恵
 土澤 政子
 小川 智久
 松村 尚幸
 秋山 辰彦
 稲垣 正彦
 坪松 康隆
 稲越 良枝

事務局長
 事務局次長

会計

第1ブロック長
 第2ブロック長
 第3ブロック長
 第4ブロック長

スマイルサービス事業部長

交流事業部長

支援事業部長

広報事業部長

研修事業部長

先駆的事業部長

ボランティア事業部長

監査

顧問

事務局員

【勤務日】

・火・水・金 13時から17時

西部地域福祉センター

TEL (460) 1781

FAX (463) 4169

※太字はブロック長です

第2ブロック

(井野東1・2区、ユーカリが丘4・6・7丁目、西ユーカリが丘2・5・6・7丁目、ミライアタワー)

【民生委員・児童委員】
 村山 房子 高垣 早苗 田口 澄子 石毛 寛
 【自治会・町会・地区代表】
 石川 実 青野勝太郎 秋永 利夫 関口 裕之
 清水 平一 岡田 智子 稲垣 勉 設楽 徳雄
 【福祉協力者】
 山崎 喜弘 勝田 敏彦 山口 葉子 荒金 誠司
 飯田 繁 恵下 幸子 恵下 拓 千田 邦枝
 石川 英二 石川 利治 折笠 壽一 鳥井 建志
 奥平 英明 中瀬 和子 山本 美穂 橋岡 協美
 新野 珠実 高尾 俊子 山口 昌江 高野 尚武
 小川 智久 斉藤 英晴 井上 隆子 西森真太郎
 本間 芳一 藤枝美代子 坪松 康隆 中村真由美
 小倉 正雄 出石 昌三 小松 裕一 松村 尚幸

第1ブロック

(小竹、ユーカリが丘1・2・3・5丁目)

【民生委員・児童委員】
 秋山 辰彦 永野 敏雄 柴田 順子
 保谷 信子 水谷 典子 内藤 達子
 【自治会・町会・地区代表】
 高橋 忠男 京藤 憲男 森 信夫
 上田 広 村上 亨
 【福祉協力者】
 堂満 憲一 山田 陽一 小林慎一郎 飯田 富雄
 山崎 一夫 小泉 義昭 島岡 正幸 尾澤キミ江
 佐々木善則 内野 勇夫 内野たみ子 北川 信人
 鈴木 司朗 梅内 順一 渡辺 久 島山 朝子
 原田 栄一 保谷 貞男 土澤 政子 町澤 澄子
 池村 隆博 池村レイ子 島田 昌彦 高崎 照夫
 阿部多加子 新井 重夫 木戸 一郎 上田千佐子
 木原 亨 庄田ゆり子 北岡 雅也 則武 廣行
 宗 成子 浅野 太郎 新倉 友子 山田 澤子
 田中 七郎 江頭 信之

第4ブロック

(上座第1～第7町会、ユーカリ殖産、南ユーカリが丘、プレシオ南ユーカリが丘、ステーションタワー)

【民生委員・児童委員】
 中村 徳一 高橋 京子 水藤 晃世 中野 卓巳
 廣地 富夫 栞原 妙子 窪田えひろ
 【自治会・町会・地区代表】
 太田 秀興 板敷 健一 中村 一美
 阿部 藤江 田中 純夫 関根 直也 岡田 久子
 熊岡 美佐 五十嵐紀彦 坂本 康子 角田由美子
 【福祉協力者】
 高橋 正雄 中村 元洋 花島 利男 岩井 透雄
 川上りつ子 鈴木 勉 小岩 武夫 粕谷 紳三
 寺田 之紀 久松 健司 中原 初江 阿部 和夫
 菅原喜美恵 平野 協治 高美 修次 大寫 誠
 高橋 恒雄 三橋 明子 花嶋 勝男 石崎 弘
 狩野 義昭 清水 賢二 宮下 克彦 稲垣 正彦
 渡辺 弘男 小澤 延孔 宮下 克彦

第3ブロック

(青菅、先崎、宮ノ台1～6丁目、西ユーカリが丘1丁目)

【民生委員・児童委員】
 出山 恭市 坂口 しお 鯨井 裕嗣 辻本美代子
 黒木 實 川崎 恵子
 【自治会・町会・地区代表】
 森田 陽一 山中 正男 野田 一隆 染谷 和男
 川久保京子 杉浦 俊治 渡邊 孝一
 【福祉協力者】
 矢部 隆平 塩田 恭子 小松由季子 佐川 章
 星野 光 恵下 均 山本 和彦 稲阪 稔
 原田 考治 設楽啓一郎 高柳 要 三門 増雄
 出山 照夫 川島 静夫 蕨 文江 友野 信博
 関灘三津枝 田倉 玲子 山田伊知郎 瀬尾 潔
 土谷 千穂 中尾 正一 矢部 隆平 佐藤ふみ子
 玉置 淑恵 吉見 律子 圓谷 公照 村上 茂夫
 吉田 葉子 羽野 保代 加藤 一法 田中 勝美
 長澤 孝介 高木奈都美 田島 健次 鶴ヶ崎和子

第2ブロック27年度ふれあいバス旅行

平成28年3月22日(火)のさか望洋荘(匝瑳市)ほか第2ブロック内にお住いの高齢者26名と福祉委員11名、計37名にて、晴天に恵まれた中ふれあいバス旅行に行つてまいりました。

匝瑳市にある『のさか望洋荘』は、自然に囲まれた九十九里海岸の中央に位置するため、食事処からも美しい砂浜が一望でき、とても和やかにお食事ができました。

また、お料理の品数の多さに皆さんびつくりされていました。帰りは、『道の駅多古』に立ち寄り名物のぶどうパンなど、たくさんのお土産を買っていました。

高齢者の方々と福祉委員とのふれあいの時間を過ごせた二日となりました。

第3ブロック住民福祉懇談会

平成28年7月9日(土) 志津ユーカーが丘地域交流スペース 新しとともに歩むふくしプランⅢのスタートを受け、「支え合いのまちづくりについて学ぶ・考える」をテーマに住民福祉懇談会を開催しました。前半で順天堂大学スポーツ健康科学部松山准教授から「支え合いのまちづくり」についての講話をいただき、後半では参加者の皆さんで地域の支え合いについて話し合いを行いました。

松山先生からは、「支える・支えられる」とは、「自立」とは、「地域住民」とは誰かとの問いかけがあり、たとえも含めわかり易く解説いただきました。

これを受けて、後半ではAからDの4班に分かれ、自己紹介の後、フセンに意見を書き込み、模造紙に貼りつけながらの意見交換の方法で行いました。身近に顔を合わせながらの意見交換は第3ブロックでは初めての試みですが、「地域での支え合い」を個人の問題として、また地域の課題として考える良い機会となりました。



「ともに歩むふくしプランⅢ」による、地域の支え合い活動開始

平成28年度から32年度までの5年間を計画期間とする「ともに歩むふくしプランⅢ(第5次佐倉市地域福祉活動計画)」の、地域の支え合い活動が開始されました。

今回のプランは、「支え合い活動」「災害時要援護者支援」「生活困窮者支援」を3本柱としています。「支え合い活動」は地域住民の

第4ブロック住民福祉懇談会

7月17日(日) 志津小学校体育館ミーティングルーム 会議のテーマは、「佐倉市の防災対策等について」で行なわれました。

佐倉市の危機管理室から中山さんと内田さんから中山さんと内田さんに来ていただき、佐倉市が作成した防災ガイドブックを参考に、佐倉市の地震対策や風水害対策、自主防犯組織の重要性などの話を聞きました。佐倉市がどんな準備をしているのか、家庭で準備してもらいたい食料や飲用水、建物の耐震化、家具転倒防止の話や、隣近所との日ごろからの絆づくりや自主防災組織の結成や訓練等の重要性をお話されました。



また、佐倉市社会福祉協議会の杉山さんから、熊本地震の支援活動に行かれた時の実体験のお話をいただきました。やはり日ごろからの近所同士のお付き合いの重要性をお話されていました。

参加が不可欠で地区社協の役割が大きく、一方、「生活困窮者支援」は専門性が必要とされる活動が多く市社協の役割が大きくなります。「災害時要援護者支援」は地区社協、市社協が連携して取り組む課題です。

ユーカーが丘地区社協では、「支え合い活動」としてスマイルサービス事業を平成22年10月に開始し6年目に入っています。その他に100円喫茶、いきいきサロン、歌声喫茶、敬老の集い、ふくし祭りなどの多くの活動を実施し、今後ともだれもが安心して暮らし続けられるよう身近な助け合い活動を推進します。

「災害時要援護者支援」では啓発活動の広報や研修会を実施するなどともに、増加している要援護者を迅速に支援できる体制を整えるため自治会、各種団体と連携・協力します。「生活困窮者支援」では関係機関とのつなぎ役となるよう研修やフードバンクなどの理解が得られるような活動とともに、生活困窮者が孤立しない地域とすべく自治会、民生児童委員、各種団体と連携・協力します。

